



今年を代表する映画「国宝」は、歌舞伎に人生を捧げた主人公が人間国宝になるまでの半生を描いた作品で、9月中旬現在、興行収入142億円を突破する大ヒットで、ご覧になった方も多いかと思いますが、今年は人間国宝が初めて認定されてから70年の節目にあたり、つながりがあるのかもしれませんが。

人間国宝は、日本の伝統芸能や工芸技術において極めて高度な技術を持つ人物のことで、正式には「重要無形文化財保持者」と呼ばれます。文化財保護法に基づき文部科学大臣が認定し、認定区分には「各個認定」「総合認定」「保持団体認定」の3つがあります。一般的に「人間国宝」と呼ばれるのは、個人に与えられる「各個認定」です。歌舞伎そのものも1965年に重要無形文化財に指定されており、「総合認定」の保持者団体である伝統歌舞伎保存会の構成員として、七代目尾上菊五郎、十五代目片岡仁左衛門、五代目坂東玉三郎などが認定され、さらに個人としても人間国宝に選ばれ、歌舞伎の保存・発展に貢献されています。

歌舞伎の語源は「傾（かぶ）く」。常識を外れた奇抜な装いや振る舞いを意味し、出雲大社の巫女・阿国が「かぶき者」の踊りを披露したことが歌舞伎の起源とされます。当初は女性や少年が演じていましたが、幕府の禁止で男性のみの形へと変わりました。400年以上の歴史を持つ歌舞伎は、庶民の娯楽として江戸時代から発展していたことから、現代にも影響が多く残っており、歌舞伎由来の言葉も多

くあります。例えば、「裏方」「黒幕」「十八番」「正念場」や、物事を曖昧にする際に使う「なあなあ」も、歌舞伎の内緒話の場面から来ており、「だんまり」「めりはり」「どんでん返し」「二枚目・三枚目」なども歌舞伎由来です。二枚目・三枚目は、芝居小屋の看板に主要役者8人を掲げたことに由来し、1枚目は主役、2枚目は美男、三枚目は道化…と役の意味が残ったものです。また、動画や写真のない江戸時代には、轟員の役者を描いた役者絵が人気で、茶屋の様子を描いた錦絵は今でいうオフショットで、当時から推し活文化があったと思うと興味深いですね。

今年は人間国宝制度が約50年ぶりに改正予定で、従来の「芸能」「工芸技術」に加え、「生活文化」が新設されるそうです。ユネスコの「和食」登録などを受けた動きで、今後は食文化の分野からも人間国宝が誕生する可能性があり楽しみです。また、歌舞伎座には1演目だけをリーズナブルに観られる「一幕見席」もあり、敷居が高く感じる歌舞伎も初心者でも気軽に楽しめそうです。ちなみに、10月の別名・神無月は、八百万の神々が出雲大社に集まることから、出雲では逆に神在月と呼ばれます。この時期「しあわせ」の御縁を結ぶ神々の会議「神議（かみはかり）」が行われるとされ、神秘的な空気に包まれるそうです。そんな神秘的な世界や、伝統芸能、食文化など、秋ならではの魅力を味わってみてはいかがでしょうか。（参照・出典：東宝、文化庁、歌舞伎美人、国立国会図書館、出雲大社各HP）

Information on training courses

研修コースのご案内

開催日程・開催地等、研修に関する詳細は弊社ホームページにてご確認ください。（<https://ba.intertek-jpn.com/study/>）

審査員養成コース

審査員養成コースは、審査員を目指される方だけでなく、最近では企業様から、品質管理体制の改善や、内部監査員のさらなるスキルアップを目指してご参加いただくことが増えております。業務改善や力量向上を目指している皆様のご参加をお待ちしております。

- ISO 9001 (5日間) / ISO 14001 (3日間) / ISO 45001 (3日間)
- ※ ISO 14001/45001の3日間コースは受講要件がございます。
- 詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

- 日程・開催地
- ISO 9001・・・10/ 2(木)～ 6(月)〈東京〉
 - ISO 14001・・・11/27(木)～ 29(土)〈東京〉
 - ISO 45001・・・11/ 8(土)～ 10(月)〈福岡〉
 - ・・・12/12(金)～ 14(日)〈東京〉

NEW オンデマンド研修

- ・短時間集中！1本5～20分でサクッと学べる
- ・繰り返し視聴&資料DLで、理解がぐんと深まる
- ・マルチデバイス対応、いつでもどこでも学習OK
- * 気候変動、規格改訂、MSC CoC認証などの人気コース、申込受付中！

好評！オンラインセミナー

オンラインセミナー好評開催中！
各規格 (ISO 9001/ISO 14001/ISO 45001/ISO 27001等) の内部監査員養成コースを開催しています。また、講師派遣型セミナーもオンライン対応可能です。

* 弊社ホームページよりお申込みいただけます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からの
お便り

気候変動をマネジメントシステムに組み入れる運用セミナー（オンデマンド）を受講して

気候変動をマネジメントシステムに組み入れる運用セミナー（2025年6月オンデマンド）受講
株式会社ニチリョー 品質保証部 部長 磯貝 義徳

弊社は分注器・ピペットの製造・販売を行っております。1944年に創業し、2024年には80周年を迎えることができました。

ISO 9001は1996年、ISO 14001は2005年に取得し、マネジメントシステムの構築・運用を行ってまいりました。

このたびは、気候変動追補への対応を進めていたところ、セミナー開催の案内を受け取り、受講いたしました。セミナーでは、気候変動

を配慮することになった背景や重要性などの基本部分の再確認から、運用の流れや業種別の運用例などもあり、参考になる内容だったと思います。特に、Q&Aはより具体的な内容や運用上の疑問点が挙げられており、追補の内容について理解を深める助けとなりました。

本セミナーでの内容を念頭に、マネジメントシステムへの対応をよりいっそう進めていきたいと考えております。

インターテック・サーティフィケーション株式会社 <https://ba.intertek-jpn.com/>

東京事務所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル4F
大阪事務所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F

E-mail: info.ba-japan@intertek.com
E-mail: info.ba-osaka@intertek.com